

名都借の木



2014年 4月 1日発行
 発行者:流山市立木の図書館
 (指定管理者:株式会社すばる)
 住所:流山市名都借313-1
 Tel:7145-8000

さあ、始めよう!

2014年度がスタートしました。

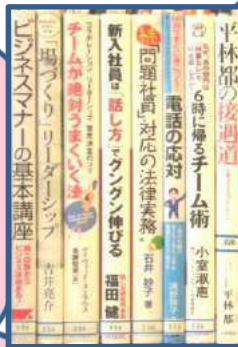
新しいことを始められる方、いままでの生活を変えようとしている方、いまの生活をステップアップしたい方、いろいろな方がいらっしゃると思います。

ぜひ図書館をのぞいてみてください。

あなたが新たに踏み出す一歩、そのお手伝い出来る本があるかもしれません。

新しい生活を始める 楽しみを見つける

新たに社会人として、あるいは責任のある立場へステップアップして、新年度を迎える方々へ、社会人としての初歩から経営まで、ビジネスの良い相談相手になってくれる本をご用意しています。
 請求記号は336です。



木の図書館では、俳句や短歌に関する本を数多くご利用いただいています。

有名な俳人や歌人の作品を味わうだけでなく、自分で創って楽しむのはいかがでしょうか。

気軽にご利用いただける入門書もございます。

請求記号は911～です。



春、子どもたちは新しいことにチャレンジしていきます。また、子どもたちの成長は、親にとっても新たなチャレンジにあふれています。子どもたちと向き合い、成長を手助けするためのアドバイスをくれる本をご用意しています。
 請求記号は379です。



そのほかにも、

「1人暮らし」の指南、「料理」や「お弁当」作り、服や小物を作る「裁縫」や「手芸」、「コンピュータ」の使い方、草花や木を育てる「園芸」の入門書

などをご用意しています。
 お気軽にカウンターにお尋ねください。

別れと

出会い

春は「別れと出会い」の季節ともいいますよね。心のわだかまりと決別し、ステキな出発をしてみませんか。
 難しく考えなくても、近くに良縁があるかもしれません。抱えていた心の荷物を整理できるかもしれません。

例えばこのような運命があります。
 十年前に交わした約束を心のどこかで期待して旅立った地、ギリシャ。複雑な思いを胸に向かう再会の場所。運命の人はその場に現れるのでしょうか。
 (「神様たちのいるところ」)

「ジュリエット」という名前を持つ、純日本人の女子大生。「ロミオ」という名前を持つ人が運命の相手と信じて、街で、ネットで探します。けれどやっぱりなかなか見つかりません。大好きな銭湯につかって一休み。ああ、「ロミオ」。あなたはどこにいるの? 私は、「ロミオ」のためにどこにできるの?
 (「運命の湯」)

外国にも日常にも、「出会い」はすぐそこにあるかもしれません。あなたの「運命の人はどこですか?」、きっといつか出会えるはずですよ。



飛鳥井 千砂、彩瀬 まる、瀬尾 まいこ、西 加奈子、南綾子、柚木 麻子/著
 「運命の人はどこですか?」(祥伝社)



図書館へおいでよ♪



図書館は魅力的



矢崎 存美著
「ぶたぶた図書館」
(光文社文庫)

「図書館は何をすることでと思いますか？」

図書館は、好きな本をその場で読んだり、借りて帰ったりできる場所です。勉強の目的で図書館を利用する人もたくさんいるでしょう。

その他にも、図書館の魅力があるのをご存知ですか。図書館では色々な楽しいイベントが開催されています。図書館で出会うたくさんの本、そして様々な人とのふれあいは、きっとあなたの人生に豊かさをもたらしてくれるでしょう。

「ぶたぶた図書館」という作品は、ひとつのイベントを成功させる為、図書館大好きな中学生と情熱的な司書が奮闘するお話です。そのお手伝いをしますのは、夢に破れ人生に疲れたおじさん、夢見心地な子どもの子育てに悩む主婦、そして「ピンクのぶたさん」です。ぶたの存在に戸惑いながらも、前向きに生き始める登場人物を通して、人生明るく楽しく歩もうと思えるお話です。



十人十色の図書館



「図書館はどのようなイメージですか？」

図書館は「お花畑」に似ていると言う人がいます。本が等間隔に並べられ、色々な種類や大きさのものが咲き誇っているように見えるからです。

また違う人は、図書館は「霊園」のようだと言います。本が記号や数字で区画整理されるが如く並べられているように見えるからです。いずれにしても、図書館は心静かに自分の心と対話ができる場所なのだと思います。

あなたの目には図書館はどのように映るでしょうか。



新井 千裕著
「図書館の女王を
捜して」(講談社)



スコット・ダグラス/著
「どうか、お静かに」
(文芸社)



三浦 しをん/著
「本屋さんで待ちあわせ」
(大和書房)



「どの読者にも、その人の本を」という言葉があります。今日も図書館で、本があなたを待っています。

そして1950年、無料の原則をうたう図書館法が公布されました。続く60年代、70年代には、中小公共図書館の役割として市民を中心にしたサービス、すなわち求められる本の自由な貸し出し、児童サービス、全域的なサービスが提言、実証されました。同時に、多くの利用者が、図書館は自分たちのものである、という思いをもって、図書館を利用した活動を活発に行ったのです。

戦後占領期の1948年からCIE(民間情報教育局)によって、これからの公立図書館、特に一般市民が利用するための図書館のモデルとして、いわゆる「CIE図書館」が、全国主要都市23か所に設置されました。それまでの日本の公立図書館は利用料をとるのが普通で、例えば復興した東京都立図書館は、1949年時点ですらすべて有料でした。しかし「CIE図書館」は無料で利用できました。その他にも、本を直接手に取れる開架、貸出、レファレンス、児童へのサービス、視聴覚資料の利用など、現在の公立図書館のあり方の元となりました。

1950年4月30日、図書館法が公布されました。これを記念して日本図書館協会はこの日を「図書館記念日」としました。公立図書館は(もちろん木の図書館も)この法律によって規定されています。

4月30日は図書館記念日



子どもの木



子ども創作教室 木の工房

自分だけのエコバッグを作ろう！

本物のはっぱをスタンプして、すてきなエコバッグをつくっちゃおう！



5月10日(土) 13:00~14:30

対象：子ども20人(受付先着順)

場所：東部公民館 参加費：300円

4月22日(火) 10:00~受付開始！



おねがい

当日はよごれてもいいふくそうで来てね。

スタンプ用のはっぱを持ってくるね。外に落ちているはっぱでOK！図書館でも用意するよ。



ワールドカップってなあに？

今年はブラジルでFIFA(フィファ)ワールドカップがおこなわれるよ！
四年に一度！世界各国のチームが参加するサッカー大会なんだ。
日本はコートジボワール・ギリシャ・コロンビアとたたかうよ。
わくわくしながら図書館でサッカーについてしらべてみよう！



ブラジルって
どんな国？

NO IMAGE

進め！サムライブルー
サッカー日本代表感動の20年ヒストリー
林壮一/著 講談社
日本サッカーの歴史が良くわかる！
読めばおうえんしたくなる！



なるほど世界地名事典 5
中米・南アメリカ
蟻川明男/著 大月書店
ブラジルはどこにあるだろう？
ページをめくって探してみよう！



サッカーボーイズ
再会のグラウンド
はらだ みすき/著 角川書店
さわやかな少年サッカー小説。
大人にも読んで欲しい1冊です。



メッシ
ハンデをのりこえた小さなヒーロー
マイケル・パート/著 ポプラ社
病気と闘いながらも、
サッカーに打ち込んだ少年メッシの物語。



木の図書館

これからの催し物

催し物の申し込み連絡先
木の図書館
電話：04-7145-8000

はじめての中国語

講師： 館野由香里氏
(文教大学文学部非常勤講師)

日時：第1回；5月15日(木) 10時～11時30分
※連続15回の講座です。(原則毎月第1、3木曜日)

場所：東部公民館

対象：中国語を初めて学ばれる方 大人15名

※15回の講座すべてに出席できる方

参加費：1000円/回 4月12日(土)10時より受付
(資料代込み) (木の図書館電話、来館にて)



ベビーサイン 講座



講師： 牛木貴恵氏

(日本ベビーサイン協会認定シニアインストラクター)

日時：6月7日(土) 10時～11時30分

対象：妊婦の方、親子(2歳まで) 20組

参加費：500円/組

ベビーサインとは、
まだうまく話せない赤ちゃんと
手を使って会話をする育児法です。

5月22日(木)10時
より受付(木の図書館
電話、来館にて)

郷土へのいざない vol.5

～守護神・馬頭観音～



図解・馬頭観音

かつて東葛地方には広大な「小金牧」がありました。流山にも数多くの野馬入り新田(野馬が入ってきてもいい新田)があったため、駒木、駒木台、古間木(コマキとも読める)、野々下(牧の下という意)…といった牧に関わる地名が、今でも残存しています。

多くの馬がいた痕跡をあらわすものに、「馬頭観音」の石碑があります。馬頭観音とは頭の上に馬頭をいただき、四圍を威圧するような怒りの相をした観世音菩薩で、仏教の六道のうち畜生道を担当することから、馬や牛の守り神として信仰されるようになりました。

路傍に見る馬頭観音の石碑は、単なるお墓ではなく、牛馬の無病息災や長寿、安楽などを祈願した供養塔でもあります。

馬は農耕だけでなく、軍馬としても重用され、自動車や鉄道が普及される以前には、輸送手段の主役であったことから、「旅の安全」祈願をしているところもあるようです。

流山にある長流寺の馬頭観音は、笠付で、馬の首だけ大きく彫られた、全国でも大変珍しいものです。慶長12年(1607)に建造されました。近いところだと、木の図書館近くの松ヶ丘旭会館前の祠には、馬頭観世音と庚申塔の石碑2体があります。

馬頭観音をはじめとする石碑(いしぶみ)には、それぞれ深い意味が込められています。ポカポカ春の陽気のなか、いしぶみを巡りながらの散歩はいかがでしょう。

～参考図書～

- ・「東葛流山研究第30号」『楽しい東葛地名事典』2012 p57
- ・「東葛流山研究第31号」『楽しい東葛歳時記事典』2013 p90-91
- ・「東葛流山研究第32号」『楽しい東葛いしぶみ事典』2014 p11 ←NEW!

・「図解 仏像のすべて」PHP研究所 2008 p34



長流寺馬頭観音

4月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

□ は休館日 □ は17:00まで開館 ○ はおはなし会 □ はイベント

木の図書館カレンダー

開館時間 火曜日～土曜日：9時30分～19時(4月まで) 休館日 月曜日(休日の場合は火曜日)
9時30分～20時(5月から) 月曜日(5月31日は開館)

日曜日・祝日：9時30分～17時

※5月6日は開館、同7日は休館いたします。